

市民のいのち・暮らしを守り、豊かな教育すすめる市政の実現を

日本共産党

市議会議員・6期

細野 りゅう子



「困った人を
ほっとけない。」

●1955年岩手県生まれ●
岩手大学教育学部卒●緑ヶ丘
小学校教諭、都立町田養護
学校教諭、町田第二小学校
教諭●1998年に市議会議員
初当選●現在、党市議団
幹事長。健康福祉常任委員
会委員、災害対策委員会委員、
社協評議員)●家族は母、
夫と1女●鶴間在住



都議会議員
池川友一
私も細野さんと
力をあわせてが
んばります。

だれもが安心して
生活できる町田に

障害があつても、高齢になつても、こ



どもたちもだれもが安心して生活できる町田にするために市議になって24年。24年前の質問で求めた「小学校のような温かい中学校給食」、日本共産党市議団が条例提案した「子どもの医療費助成制度」、低年金でも暮らせる特別養護老人ホームの増設、全小学校への学童保育クラブの設置や認可保育園の増設など、市民の運動と力を合わせて実現することができました。

私はこの確信を胸に、さらに皆さんとご一緒にいのちと暮らし、地域の願いを実現するために7期目に挑戦します。新型コロナウイルスが浮き彫りにした命を守る政治を実現するために。

新しい町田

2021年12月
2022年1月号外

発行/新しい町田社
〒194-0022 町田市森野 3-7-46

TEL 042(723)6312 / FAX 042(725)1988
E-mail machida.jcp@seagreen.ocn.ne.jp
日本共産党町田地区委員会の見解を紹介します。

市議として6期・24年

市民とともに 市政変えるために全力



細野りゅう子

子どもたち、親の願いが実現 中学校全員給食 2024年度から順次実施に

2018年、中学校全員給食実現を求める請願が2万3千人の署名とともに市議会に提出されました。請願は、自民（1人除いて）、公明などの反対で不採択となりましたが、その後の継続した市民運動と、「小学校のような中学校給食こそ必要」と、党市議団がくり返し、市議会できりあげるなか、2020年12月、市長は、中学校全員給食への転換の意思表示をおこない、2021年度予算に盛り込まれました。

南地域では2025年の2学期から開始予定です。

小中学校の統廃合より 少人数学級を

石阪市政は、財政難を理由に公共施設再編計画を市民の理解と合意なしに進めています。

学校も例外ではなく、市立小中学校62校を41校に、3分の1も減らす「新たな学校づくり」計画をすすめています。

地域コミュニティをこわす学校統廃合はやめて、少人数学級の実現で学校を存続させるべきです。

《南地域で統廃合の予定の小中学校》

南成瀬小 - 南2小、南3小 - 南4小、南つくし野小、つくし野小

5人の共産党市議団の実現を



市議会議員・8期
とのむら健一



市議会議員・5期
佐々木とも子



市議会議員・1期
田中 美穂



町田くらしの相談室長
大野まこと

市民の理解と合意なしに

大型開発すすめる石阪市政と それを支える自民、公明

いま石阪市政は、「多摩都市モノレール延伸を前提としたまちづくり」を中心に据え、600億円を超える税金を町田駅周辺再開発に投入しようとしています。

その一方で、5年連続の国民健康保険税の値上げや税滞納者への給与差し押さえ、市葬祭事業や高校生の奨学金制度の廃止、障がい者施設家賃補助金の削減など、市民のくらしを直撃する削減計画をすすめています。

さらに、市立図書館8館を6館に減らし、文学館、博物館をなくす計画も。これに対して、公共施設存続を求める署名は、あわせて3万人を超え、請願はすべて採択。文学館は存続されることになりました。

この市民の声に耳を傾け、大型開発優先から市民のくらしと福祉、教育を守る市政に転換する時ではないでしょうか。

市民の願い実現にがんばります

- 補聴器購入費補助制度を実現します
- 学校給食の無償化をすすめます
- 18歳までの医療費助成の拡充
- コミュニティバスなど公共交通の拡充
- シルバーパス料金に中間段階を設けます
- 保育園の待機児をなくします
- 新型コロナウイルス感染症から命くらし営業を守る市政に
- 年金でも入れる特養ホームを増設します
- 国民健康保険の引き上げをやめ、子どもの均等割りをなくします
- 二酸化炭素排出ゼロを目指す取り組みを進めます